

【アメリカ情報】

古い15世紀のイタリア村がデザインテーマの
ネイバー型ライフスタイルセンター



reporter
NAMIUCHI

LSC（ライフスタイルセンター）は、住宅地の近くに開発されるため住民の意見を尊重し、十分に取り入れて開発されることが特徴でもあります。このロサンゼルスにあるLSCにおいても出店店舗や、木の種類に至るまで住民の意見を取り入れていきます。

そのおかげで、自分の住む町にLSCが在る事を誇りに思うほど住民に受け入れられている場合が多いそうです。良くある開発側の押し付けではなく、住民と一緒に開発するという事で、非常に親しみを感じるわけです。

また、道路からSCを見るといきなり駐車場がドーンと見えてくる・・・そんなSCが日本にも多いと思いますが、駐車場がいっぱいだとそれだけで閉口してしまいがちです。

LSCの場合は、あくまでも自然発生的な街並みを大切にす為、駐車場さうろう的な配置は避けられていて、周りに住む住民の生活に気を使っているのが良く分ります。憩いの場をもうけ、池や川、小さな滝もあり、子供たちが水遊びをしながら、所々に配置されたストリートオブジェと戯れる姿は微笑ましかぎりです。

そして、この施設には熟年層を主対象とした専門店に加え、子供専門店業態（ジンプリー・イマジナリウムなど）が多く入居しているのも特徴で、2世代にわたって編集されているようです。その他に核店舗として個性的なスーパー、シネマ、本屋も入っていました。

ロンドンでよく目にする階段状のステージです。マネキンが前後、上下に重なり合って、ショップ空間のアクセントとなり、トレンドテーマを、プレゼンする場になっています。非常に迫力があります。

日本では、どうもマネキンのポジションって固定化しているような気がしますがこの階段状ステージのように、ショップの中央にあってもいいわけですし、ちょっと売り場空間を、ブレイクする手法にならないかとも思っています。

什器と絡めた展開は、ボリューム的にもインパクトがあり、さらに高度な配置で様々なポーズのシーンが有機的に結びつき、独特の雰囲気をかもし出しながら、訴求されています。

一方、一直線に奥に伸びるタイプも連続性の面白さがあり、日本でもトルソーなどを使って行うところも出てきたように思われます。

いずれにせよ、ステージに立てて良し、どの角度から見ても美しく見え、ごく自然にリラックスしたポーズのマネキンは、間違いなく魅力的で、そんなマネキンを、是非作りたいと思っています。

【ロンドン情報】

階段状ステージ



reporter
TOMINAGA

【上海情報】

螺旋状な、かたじけなく



型-1 近くの本屋で、面白いディスプレイに遭遇しました。キレイな螺旋状に同じ本が積み上げられ、まるで塔か島のように、床から直接陳列されてもいます。何か意味でもあるのか、聞いてみましたがわかりません。一見、無駄なように思いましたが、売れ筋の本が圧倒的なボリュームとインパクトで迫ってきます。

一方、日本ではなかなかお目にかかれない果物が多い果物屋さん。中でも一番目をひいたのがこのパイナップルです。店頭で、素早く見事な包丁さばきで、パイナップルの皮をむいてもらって、いただく事ができます。よくよく見るとパイナップルも螺旋状にむかれています。

本はテーブルか台の上に置いてフェイスアウトで見せるものとか、皮をむくとはリンゴを剥くように薄くきれいに剥くものといった既成概念がありましたが、所変われば手法も変わるものだと痛感しました。

そういえば気のせいかな、ショップなどの階段も、日本より螺旋階段が多いような気がします、...？

中国型的感性に触れながら、つつい、色んな型に反応してしまうこの頃です。



reporter
KATAGIRI

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり、沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理を顯わす、...、平家物語の一節。

我が家にも、この沙羅双樹の花が咲き出し、休日には、つい見とれてしまいます。ただ、朝に咲いては夕べには散ってしまう為、苔むした根元に転がる白い花たちは、平家一門の栄華と没落、世の無常を象徴するかのようにもみえます。

しかし、ある書物には、『沙羅の花は、一日だけの命を悲しんでいるのではなく、与えられた一日を精一杯、咲き尽くしている』と、感動的な記述もあります。ある禅寺では朝早く掃除をし、冷蔵庫に保管してあった沙羅の花を樹の根元にばらまき、多少時期が過ぎても訪れる人達に、その風情を味わってもらおうとされているらしいです。

それは秀吉が、利休の庭で満開に咲く美しい朝顔の噂を聞き、楽しみに訪れた茶会で、花がすべてもぎ取られていて、にじり口の先にある床の間に一輪だけ置かれているような、サプライズな感性に似ていると思います。

この凝集された見せ方は、咲き尽くす程の商品力と、その意図を究極に表現する、まさにVMDの極意なり！です。

【四季の風景】

咲き尽くす花



reporter
IWA I